

平成29年度 事業計画

I 基本方針

平成29年度は、札幌市の策定した『札幌勤労者職業福祉センター（札幌サンプラザ）の今後の活用方針』に基づき、定めた『一般財団法人札幌勤労者職業福祉センター新10年経営計画』に基づき各事業を遂行いたします。

主な内容は、公益事業の安定運営、収益的事業の収益強化、地域や関係機関との連携強化、持続可能な経営体制の整備としています。

II 具体的な取組

1 公益事業の展開

(1) プール

夏休み、冬休み短期スクールの開催、新規入会キャンペーンなどを実施し、利用の拡大に努めます。また、旅行会、親睦パーティーの開催、短期スキー教室等を実施し、利用者の定着を図るとともに、水泳以外でも健康増進を図ります。

(84,000人の利用を見込みます。)

(2) ホール

オペラ公演の継続開催、地域イベントの共催・協力等、地域文化の向上に協力します。また観賞会等、学校で実施する行事の取り込みを積極的に実施します。

空き日の有効利用、並びに稼働率アップを目標として企画、販売している『練習プラン』の利用から本利用への移行も徐々に見られるようになってきたため、平成29年度においても積極的に販売します。

(220件、71,600人の利用を見込みます。)

(3) 文化教室

ホームページでの教室の紹介や広場でのチラシ配架などの周知活動を行い、受講者増及び教室の安定運営を図ります。

また、カルチャー祭（文化系教室）並びに発表会（舞踊、バレエ等）を継続して開催し、利用者の定着と増加に努めます。

(110教室、23,000人の利用を見込みます。)

(4) ふれあい広場

平成29年度においては、過去に利用実績のあった顧客向けのセールスに併せ、道内市町村へ物産展示会の会場として引き続きセールスを展開し、利用の拡大に努めます。

(50件、9,000人の利用を見込みます。)

2 収益的事業の展開

(1) 会議・研修

町内会等を対象とした施設見学会の販売促進、町内会の会合、各企業・団体で開催される会議などへのケータリングの受注増を図ります。

また、学会受注を目標に、事務局へのDMの発送、並びに電話によるセールス、エージェントへのセールスを実施し、受注拡大を図ります。

(2,450件、91,100人の利用を見込みます。)

(2) 宿泊

ベッドの更新、アメニティの見直しを行い、イメージアップを図り、好調さを維持するとともに顧客をはじめ新規利用の拡大を図ります。

例年どおり、スポーツ大会出場チームなどの団体利用、文化系コンクール参加学校の宿泊など、音楽ホールをはじめ館内他部門との連携強化を行います。

閑散期対策として、インターネット予約のチャンネル拡大により、外国人旅行者の取り込みを積極的に実施し、稼働率のアップ、並びに利用増を図ります。

(客室稼働率70.9%、21,300人の利用を見込みます。)

(3) レストラン

年間行事予定に加え、毎月のイベントカレンダーを作成し、顧客、並びに利用者へ周知を図り、利用増を目指します。

卓盛りコースの充実を図るとともに、健康志向のメニューであり、北保健センターの協力を得て作成している『ヘルシーお膳』、『おすすめランチ』を引き続き提供します。

(103,750人の利用を見込みます。)

(4) 宴会（婚礼含む）

利用単価の縮小には歯止めがかかった状況ではありますが、大型の宴会の減少、並びに受注件数の減が顕著となっています。しかしながら利用特典の設定や早期受注特典等をプラン化し、広くセールスすることにより受注の拡大に努めます。

調理技能の向上、並びに地産地消に着目した企画である『晩餐会』を年間1回開催します。

(1,238件、55,493人の利用を見込みます。)

(5) 法要

DMの発送先の見直しを行い、昨年度から実施している地下鉄沿線地区、北区、東区から西区、手稲区、石狩地区へと拡大することにより利用増に努めます。

また、開催の都度、安定した受注実績のある法要内覧会を年間6回開催します。

(225件、3,620人の利用を見込みます。)

3 地域・関係機関との事業展開

(1) 労働・雇用関連事業

- ・ 札幌市、労働局が主催、開催する労働・就業関連事業に引き続き協力します。
- ・ 札幌市教育委員会、札幌商工会議所紹介のインターンシップ、並びに近隣小中学校、高等学校のインターンシップを受け入れ若年者の就労支援事業を引き続き行います。

(2) 地域活性化事業

- ・ 地域活動支援事業
地元開催の夏祭り等イベントへの会場の提供、「24(にーよん)広場」の活用などに協力し、協同でイベント等を実施することにより地域の活性化を支援します。
- ・ 街づくり事業などの地域活性化支援
『食と花で街づくり』をテーマに街づくり活動をしているスローライフ事業の共催、協力により地域の事業を支援します。

(3) 地域文化、健康増進事業

- ・ 地元主催のコンサート等に場を提供することにより、地域文化の向上に寄与します。
- ・ 健康メニューの提供
レストランで、健康志向のメニューとして低カロリーな『おすすめランチ』（北保健センター監修のメニュー）、同じく低カロリーな健康志向のメニューである『ヘルシーお膳』（TFT参加メニュー）を引き続き提供します。
※ Table For Two とは、1食につき、20円を寄付することで開発途上国の子供達に学校給食1食が提供される仕組み。

4 その他事業の展開

(1) その他事業

- ・ E S C O事業
契約期間満了に伴い、新たな取り組みとして水道の見直しをします。これにより、今まで手がついていなかった水道料金の削減をはかります。
また、削減効果の高かった実施中のE S C O事業も継続します。
- ・ エコキャップ運動への参加継続
北海道エコキャップ運動へ引き続き参加し、社会貢献運動、ゴミの削減、働く場の提供、難病支援活動を支援します。(平成28年12月：1,184.8kg)

(2) ホームページ等の積極的な活用

各種イベント、フェア等のタイムリーな情報提供の強化に取り組み、アクセス数の増加を目指します。
フェイスブックをはじめ、各メニューに画像データがあるため、今人気のInstagram(無料の写真共有アプリケーション)を活用した情報提供など、幅広い年齢層に情報発信をするシステム作りを検討します。